

（平成29年 5月17日更新）

福岡市立学校給食センター建替えに関するQ&A

Q1 なぜ、新しい学校給食センターが必要なのですか？

A 市立中学校65校と知的障がい特別支援学校5校の給食を調理・配送している市内4カ所の学校給食センターは、開設から約30～40年が経過し、建物や設備がとても古くなっており、今後も安全・安心な給食を提供し続けていくためには、早急に施設を新しくする必要があります。

また、現在の給食センターでは、設備上の理由などから、食物アレルギーへの対応や個別食器の導入、特別支援学校給食へのきめ細かな対応など、福岡市の学校給食に求められている課題を解決することが難しい状況にあります。

そこで、福岡市では、学校給食センターを建て替える再整備事業をすすめています。

Q2 新しい学校給食センターの整備はどのように行われるのですか？

A 整備の基本的な考え方は、福岡市学校給食センター再整備基本構想策定委員会での検討結果を踏まえ、平成22年10月に策定した「福岡市学校給食センター再整備基本構想」に示されています。概要は、つぎのとおりです。

- ① 学校給食センターの役割を、安全・安心な学校給食の提供、学校給食の安定供給、栄養バランスのとれた献立作成、食育推進、おいしい学校給食の提供、効率的な運営、環境への配慮とする。
- ② 食器の改善や食物アレルギーへの対応など学校給食を提供する環境を抜本的に改善できる施設を整備する。
- ③ 民間事業者の活用を検討する。ただし、献立作成、栄養管理、食材の購入は、市が責任を持って行う。
- ④ 現在の4ヶ所の給食センターを再編し、南部・東部・西部の3ヶ所に新しい学校給食センターを建設する。

福岡市学校給食センター再整備基本構想策定委員会は、保護者代表や学校関係者、学識経験者などで構成され、公開の場で基本構想について議論を行いました。同委員会の会議資料や議事録は、福岡市のホームページで公表しています。

- 福岡市学校給食センター再整備基本構想
- 福岡市学校給食センター再整備基本構想策定委員会の会議資料・議事録

Q3 学校給食センターが新しくなると、中学校や特別支援学校の給食は、どのように変わるのでしょうか？

A 学校給食センターが新しくなると、給食はつぎのように変わります。

① 給食の安全性の向上

給食センターでは、食中毒や異物混入などの事故を防止するため、これまで、細心の注意を払って調理を行ってきました。今よりもさらに安全で衛生的に作業を行いやすい施設をつくり、給食の安全性を高めます。

② 献立の充実

新しい給食センターでは、1日に提供できるおかずの種類を増やし、よりおいしく調理できるように設備を整え、給食をさらに充実させます。
また、冷めにくい食缶を使用し、温かい給食を学校に届けます。

③ 中学校食器の改善

中学校では、一枚の食器（ランチプレート）にご飯とおかずを盛り付けていますが、「お椀を手にとって食べる」、「ご飯は左に置く」などの正しい食事マナーを身につけることができ、見た目にもより美味しく楽しい給食となるよう、ご飯茶碗や汁椀、おかず皿などのP E N樹脂製の個別食器に変更します。

なお、小学校で使用しているP E N樹脂製食器については、年1回、環境ホルモンなどの溶出試験を行い、安全性を確認しています。

④ 食物アレルギーを持つ子どもたちへの対応

新しい給食センターでは、卵、乳、小麦なしのハンバーグを提供したり、かき玉汁をすまし汁に変更したりするなど、食物アレルギーの主な原因食品を除去した3種類の給食を、希望者へ提供します（除去する割合が大きい場合は、代替食となります）。

・乳対応食

・卵対応食

・8種（乳、卵、小麦、えび、かに、そば、落花生、ごま・ごま油）対応食

なお、事故防止のため、日ごとではなく年度単位での申込みを予定しており、8種対応食を選択した場合、小麦のみが食べられない生徒であっても、卵やえびなどを使用しないおかずが提供されることとなります。

⑤ 知的障がい特別支援学校給食の改善

知的障がい特別支援学校の給食では、かみ砕いたり、飲み込んだりすることが難しい食材を使わない、刺激の強い香辛料の使用を控えるなど、献立や食材の工夫を行っており、さらに小さく刻むなどの対応が必要な児童・生徒には、学校の教室で二次加工を行っています。

新しい給食センターでは、専用に調理を行い、さらに食べやすい給食を提供します。また、これまで学校で行われてきた二次加工を、給食センターで行います。

- ⑥ 中学校給食受所（センターから配送された給食を生徒が受け取る場所）の改善
 おかずの種類が増えたり、個別食器に変わったりすることにより、現在の受所では面積が不足するため、また、バリアフリーの観点から、段差をなくし安全性を高めるため、受所の改修工事をおこないます。工事は新しい給食センターの整備にあわせて行います。

Q4 新しい学校給食センターは、いつ、どこに、できるのですか？

A 新しい学校給食センターは、南部・東部・西部の順に整備していきます。

| | 建設場所 | 給食調理開始時期 |
|----------|------------|-------------|
| 第1給食センター | 博多区東平尾 | 平成26年9月 |
| 第2給食センター | 東区香椎浜ふ頭 | 平成28年8月 |
| 第3給食センター | 西区今宿青木（予定） | 平成32年8月（予定） |

Q5 新しい学校給食センターから給食が届くのは、いつからですか？

A 新しい学校給食センターは、順番に整備を行い、それぞれの配送エリアの学校に対し、約13,000人から15,000人分（全体のおよそ3分の1）の給食の調理・配送を行います。

- ① 平成26年9月から新しい学校給食センターに移行する学校
 千代中、東光中、博多中、東住吉中、春吉中、高宮中、三宅中、花畑中、筑紫丘中、三筑中、那珂中、吉塚中、日佐中、席田中、長丘中、老司中、柏原中、板付中、宮竹中、横手中、野間中、福岡中央特別支援、若久特別支援、屋形原特別支援、東福岡特別支援、生の松原特別支援
- ② 平成28年8月から新しい学校給食センターに移行する学校
 箱崎中、福岡中、警固中、当仁中、城西中、百道中、香椎第1中、友泉中、和白中、城南中、平尾中、梅林中、長尾中、志賀中、香椎第2中、原中、和白丘中、香椎第3中、城香中、片江中
- ③ 平成32年8月（予定）から新しい学校給食センターに移行する学校
 西福岡中、姪浜中、玄洋中、多々良中、高取中、金武中、元岡中、北崎中、壱岐中、早良中、多々良中央中、原北中、西陵中、田隈中、内浜中、次郎丸中、壱岐丘中、下山門中、原中央中、青葉中、松崎中、箱崎清松中

各学校へ給食を提供する給食センターは、整備の進捗状況にあわせて変更することがあります。

Q6 なぜ、学校給食センターを4ヶ所から3ヶ所にするのですか？

A 新しい衛生管理基準に適合し、食物アレルギーへの対応や個別食器の導入、特別支援学校給食へのきめ細かな対応など学校給食の質を向上させる新しい学校給食センターを建設するためには、広い敷地が必要なことから、現在の場所での建替えでは対応できません。また、新しい学校給食センターでは施設整備費や運営費の増加が避けられず、福岡市には、学校給食の充実とあわせて、効率的な整備、運営が求められています。

このため、新しい学校給食センターの整備・運営にかかる経費などを慎重に検討し、国の基準に示された調理後2時間以内の給食が全ての学校で可能なことを確認した上で、新しい学校給食センターを南部エリア、東部エリア、西部エリアの計3ヶ所建設することを決定しました。

Q7 中学校や知的障がい特別支援学校の給食を、学校で調理できないのでしょうか？

A 多くの中学校や知的障がい特別支援学校では、新たに給食室や配送車の通路を整備するための敷地の確保が難しく、また、全校に整備するためには多額の整備・運営経費や整備期間が必要となります。老朽化した学校給食センターの建替えは、緊急の課題となっていることから、これまでどおり学校給食センターで調理・配送を行うことにしました。

Q8 大規模な施設になると、地産地消をすすめるのが難しくなるのではないですか？

A 学校給食センターで1日に使用する給食食材の総量は、新しい学校給食センターの稼働後も変わりません。今後も、地元の食材や季節の食材をできるだけ取り入れた献立を作成するなど、地産地消に取り組んでいきます。

Q9 第1給食センターと第2給食センターの調理は、だれが行うのですか？

A 第1、第2給食センターは、設計・建設から施設の維持管理、運営（調理・配送）までの一連の業務を一括して民間事業者が発注するPFI方式で行います。一括して発注することで、維持管理や運営を行いやすい施設づくりが可能となり、事業の効率化や福岡市の財政負担の縮減が期待できます。

なお、献立作成や栄養管理、衛生管理など福岡市教育委員会の役割はこれまでどおりです。

学校給食の調理は、全国的に民間事業者への委託が増加する傾向にあり、学校給食をはじめ病院給食や介護施設給食など高度な衛生管理やアレルギーなどの対応が求められる給食調理の実績を持つ民間事業者へ委託することで、福岡市の学校給食

の質の向上が期待できると考えています。

第1，第2給食センター整備計画などは，福岡市のホームページで公表しています。

- 第1給食センター整備計画（平成23年3月策定）
- 第1給食センターに関する検討経緯

- 第2給食センター整備計画（平成25年3月策定）
- 第2給食センターに関する検討経緯

- 第3給食センター（仮称）に関する検討状況

※整備計画検討委員会の会議は公開しています。